



泡瀬干潟



比屋根湿地

泡瀬地区周辺で観察できる野鳥

泡瀬地区では、これまで 126 種の鳥類が確認されています。その中でも 1 年を通してみられる鳥は 25 種と少なく、渡りをしながら生活する鳥が多いのが特徴です。最も多く観察されている種類は、シギ類の 27 種類です。この仲間は、干潟域や比屋根湿地を中心に観察され、このような場所で生活しているカニ類、貝類、小魚、ゴカイ類などを食べるため集まってきます。

また、よく見られる種類で、特徴的なものは夏に見られるアジサシ類です。アジサシの仲間は、沖合でホバリングしながら小魚を狙っている様子が観察でき、夏の季節が過ぎる頃に子育てを終えて、沖縄を去っていく、沖縄にゆかりのある鳥です。

種々の野鳥類が観察できるのは、泡瀬地区にはサンゴ礁や藻場海域、広い干潟域や比屋根湿地などと、多様な環境が存在するからです。ここでは、泡瀬地区で観察できる代表的な鳥類について、紹介します。